

記入例

4部提出

道路 占用許可申請 掘削協議書

奈企 第 号

新規	更新	変更	(番号)
			年 月 日

道路管理者 奈良市

令和 年 月 日

奈良市長 仲川元庸 様

住所 奈良市法華寺町264番地1

奈良市公営企業管理者

氏名 池田修

担当者 給排水課
TEL 34-5200

道路法第32条の規程により許可を申請します。
第35条の協 議

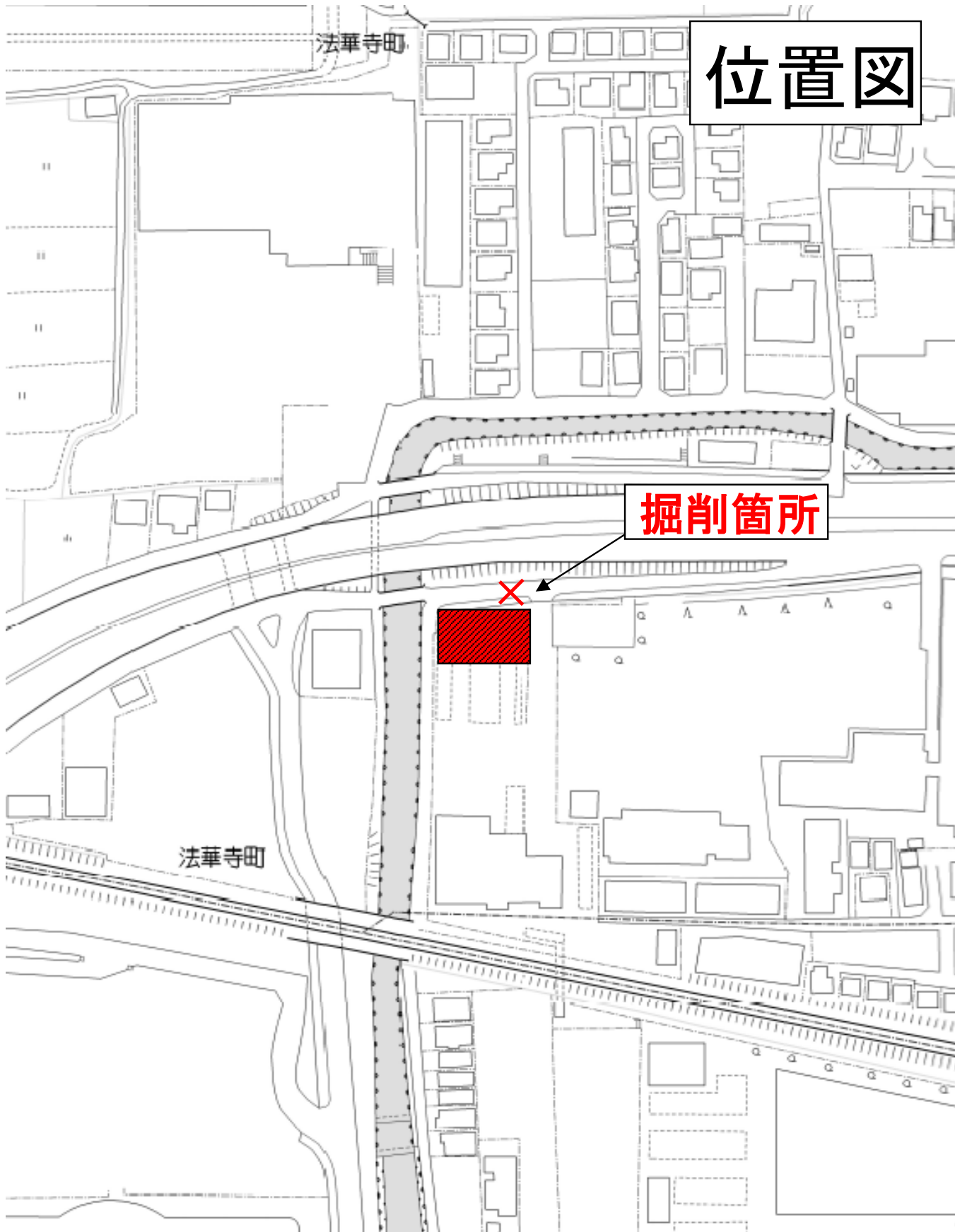
占用の目的	〇〇邸 給水管引込工事のため			〇で囲む	
占用の場所	路線名	市道 〇〇 第 〇〇 号線	車道・歩道・人車道		
	場所	奈良市 〇〇町〇〇番地	〇で囲む	歩道がない場合は人車道	
管種を記入する 占用 物件	名称	規 模	道路種別	掘 削 面 積	
	HIVP φ 〇〇 mm 給水管	〇 m × 〇 m = 〇 m ² 外径 × 本管までの長さ	アスファルト コンクリート 砂 利 その他()	〇 m × 〇 m = 〇 m ² 〇 m × 〇 m = 〇 m ² 〇 m × 〇 m = 〇 m ² 計 〇 m ²	
	占用 期間	許可日から 令和 年 月 日まで	工事の期間	許可日から 令和 年 月 日まで	
	工事 実施 の 方法	住所 事業者名 代表者名 TEL	〇で囲む		
	道路の 復旧方法	ご 指 示 の と お り	添 付 書 類	掘 削 構 造 図 付 近 見 取 図	

記載要領

- 「許可申請 協議」 「32 および 「許可を申請 協議」 35. については、該当するものを〇で囲むこと。
 - 新規・更新・変更については、該当するものを〇で囲み、更新、変更の場合には、従前の許可書又は回答書の番号及び年月日を記載すること。
 - 申請者が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。
 - 「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が2以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。「車道・歩道・その他」については、該当するものを〇で囲むこと。
 - 変更の許可申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを()書きすること。
 - 「添付書類」の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。
- この申請には、下記の図面を添付してください。

1. 占用(掘削)の場所を示す付近見取り図
2. 占用物件、掘削構造図(一般平面図、縦、横断図、工作物の場合は設計図)
3. 占用(掘削)の面積の求積図

位置図



掘削箇所

法華寺町

法華寺町

付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

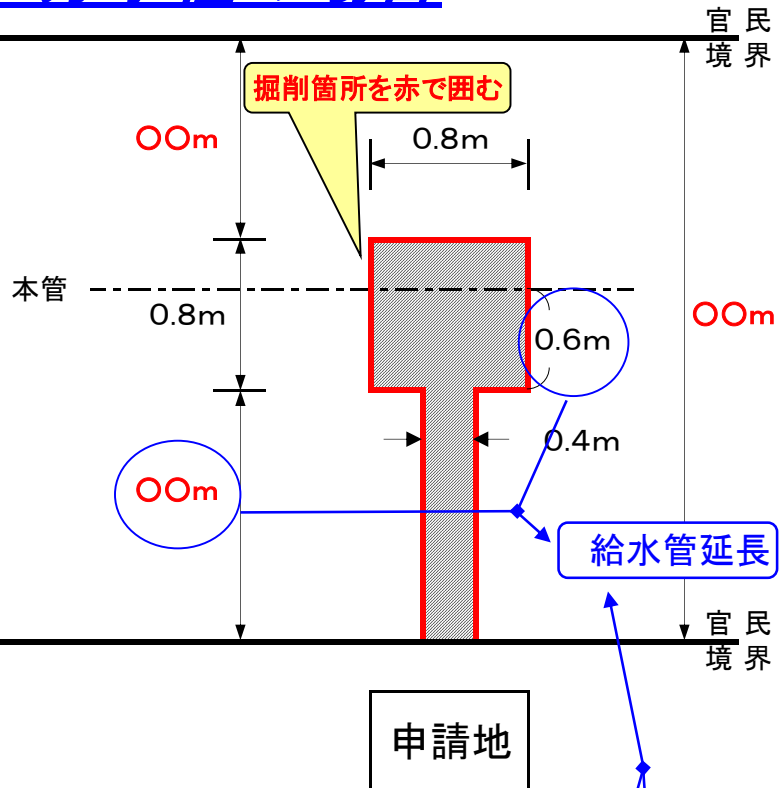
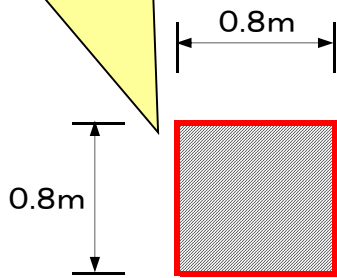
○で囲む

別紙住宅地図のとおり

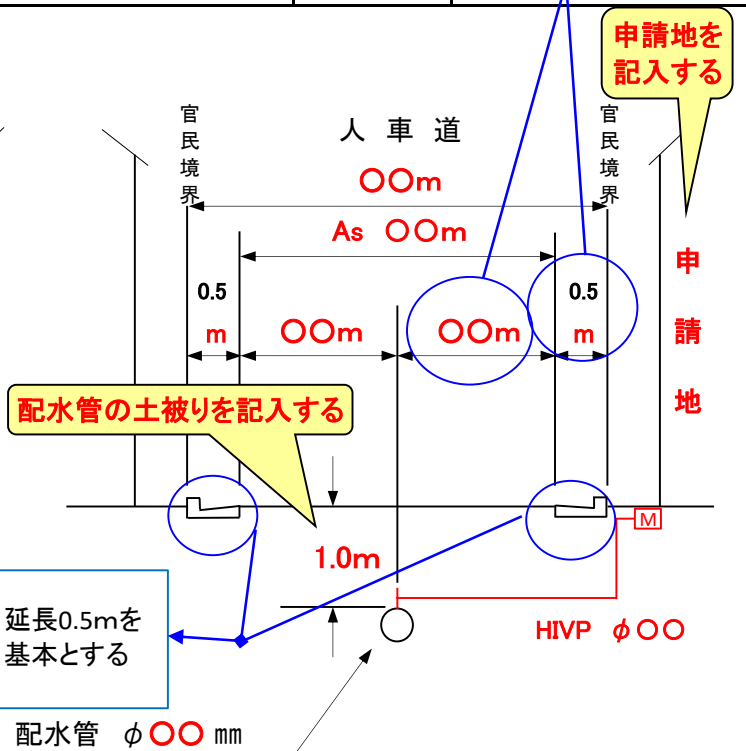
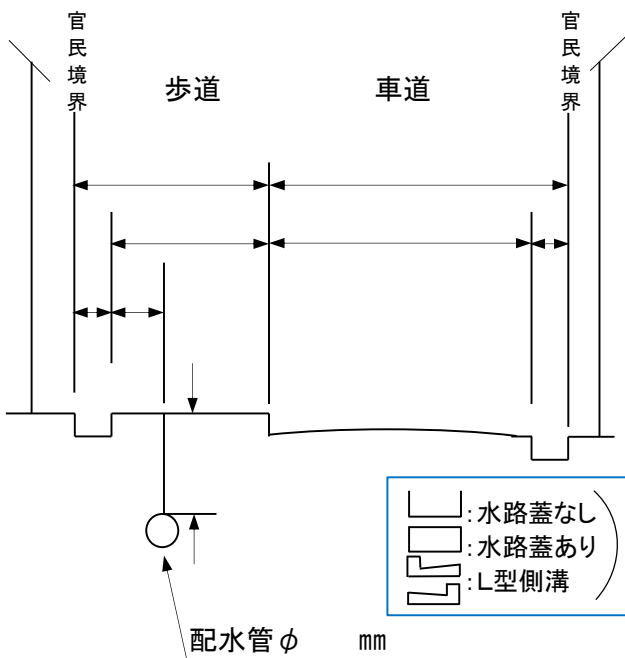
サドル分水栓の場合

平 面 図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



断 面 図



配水管の土被りを記入する

- : 水路蓋なし
 - : 水路蓋あり
 - : L型側溝
- 延長0.5mを基本とする

配水管 φ mm

配水管 φ 〇〇 mm

HVP φ 〇〇

付近見取図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

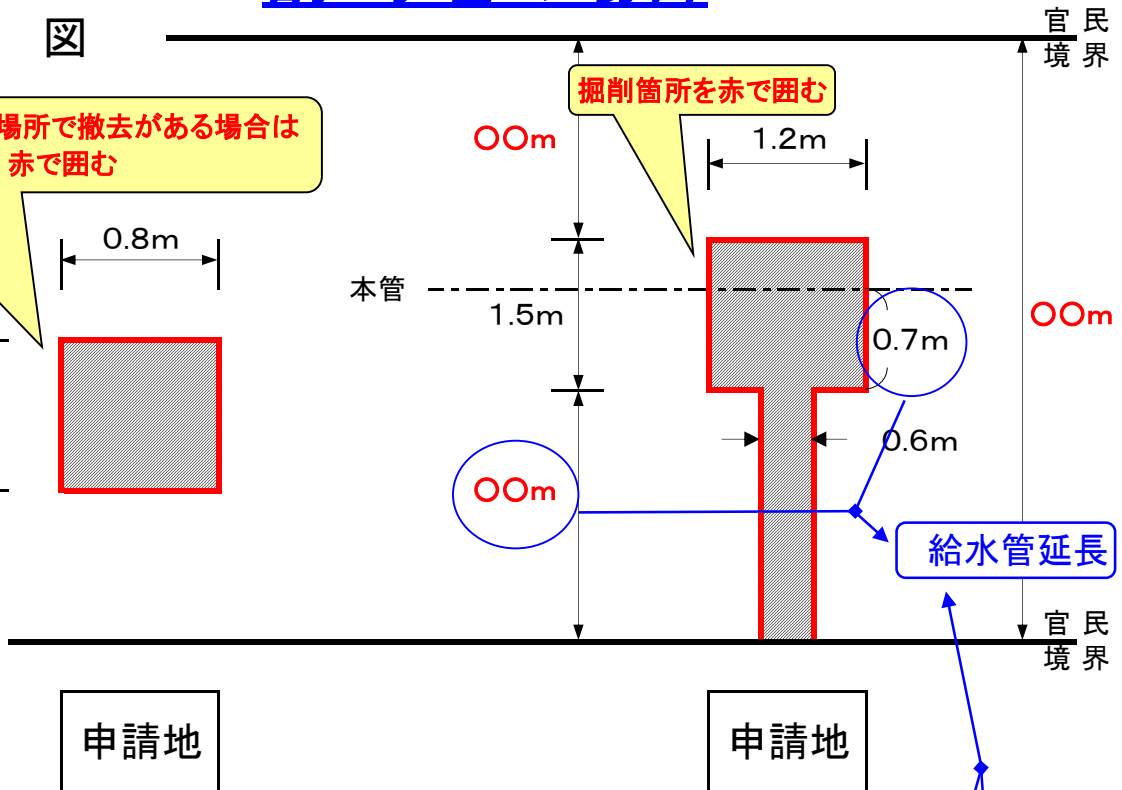
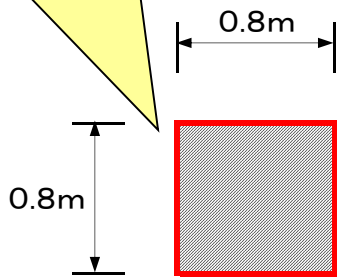
○で囲む

別紙住宅地図のとおり

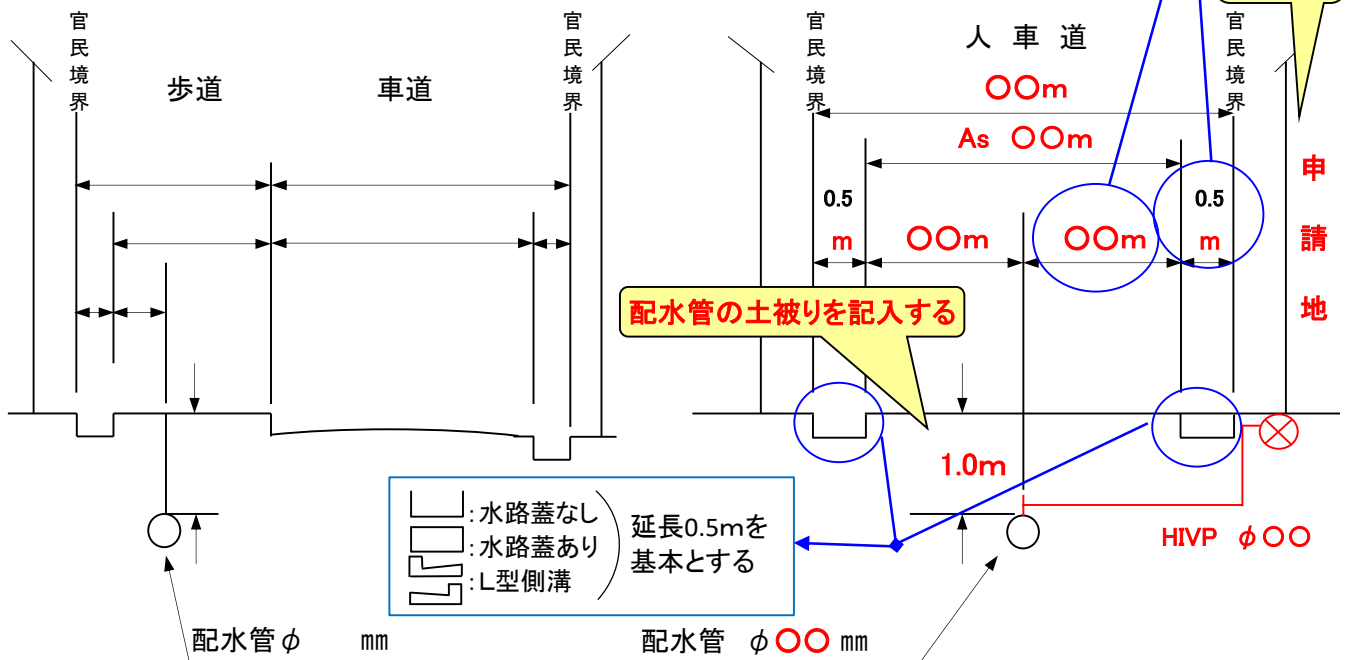
割T字管の場合

平面図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



断面図



申請地を記入する

配水管の土被りを記入する

- : 水路蓋なし
 - : 水路蓋あり
 - : L型側溝
- 延長0.5mを基本とする

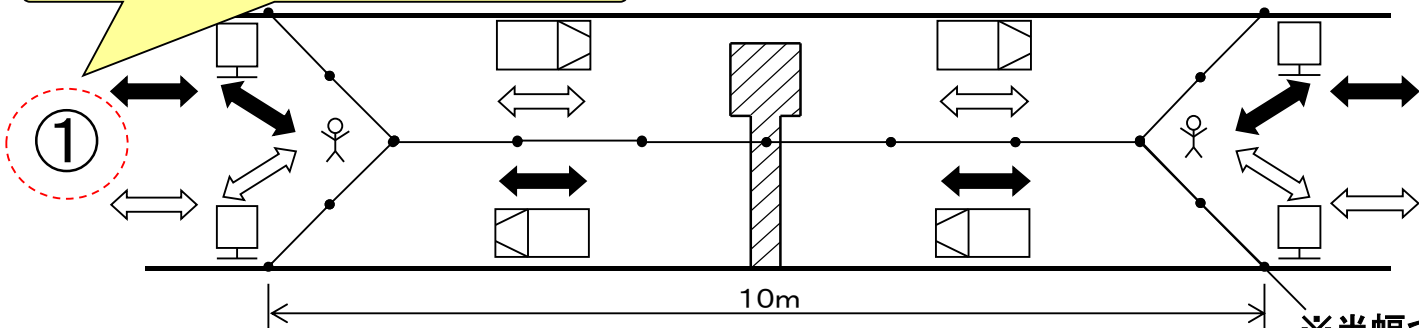
配水管 φ mm

配水管 φ OO mm

HVP φ OO

道路工事保安施設配置図

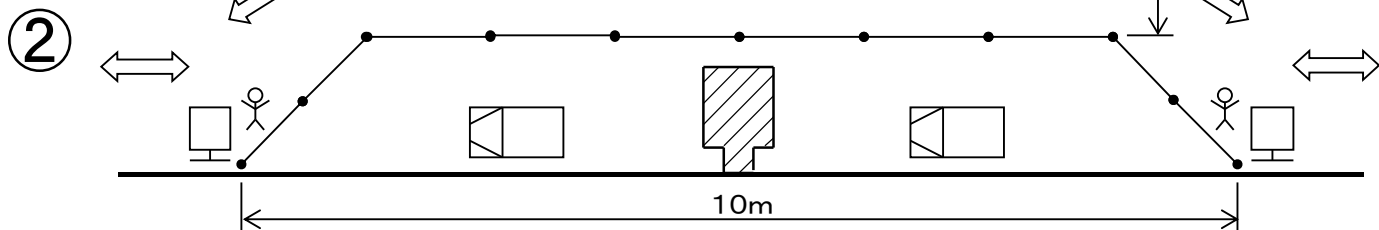
該当する保安施設配置図の番号を○で囲む



※該当する図が無い場合は別途作成すること。

大型車両の場合 片側通行幅2.0m以内は鉄板を使用


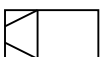



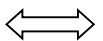
※半幅ずつ掘削し、片側交互通行とします。

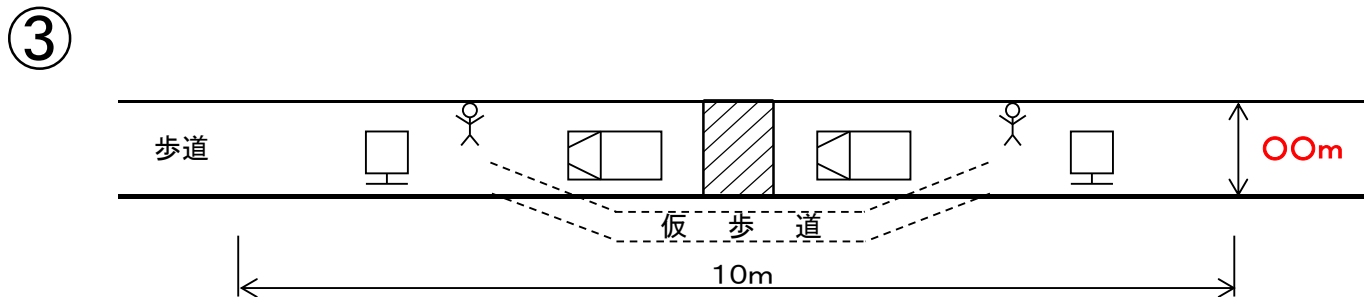


※車両が通行できる延長を記入

※車両通行時は鉄板を使用し、通行を優先します。

『補足説明』

-  掘削箇所
-  工事車両
-  工事看板
-  カラーコーン
-  交通整理員
-  一般車両



該当する保安施設配置図の番号を○で囲む

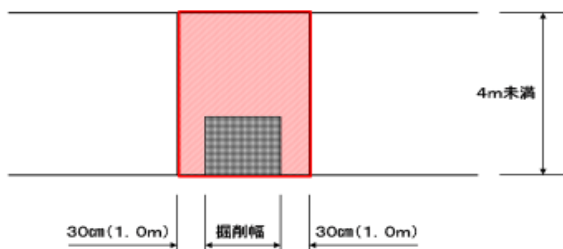
本復旧範囲図

①

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m未満の道路掘削は全て全幅復旧とする。

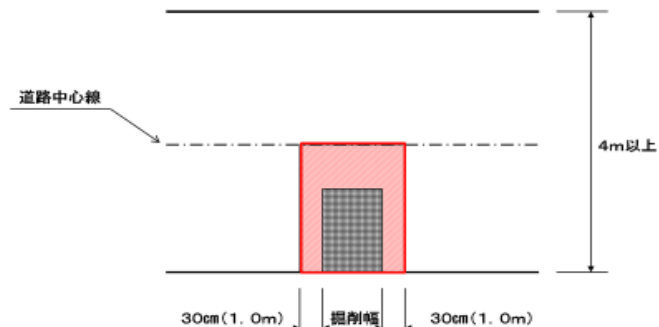


②

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えない時は半幅復旧とする。

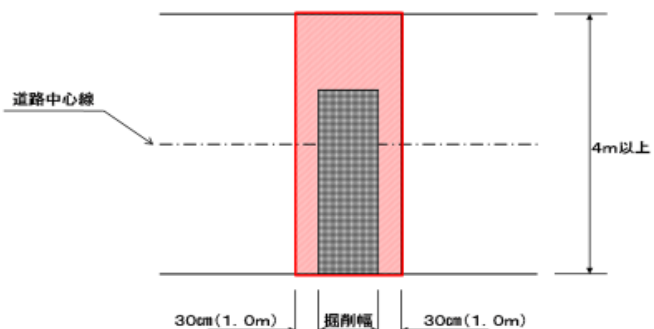


③

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えるときは全幅復旧する。

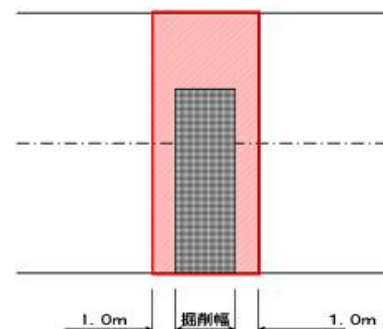


④

路面本復旧について

【市道】 保水性舗装

- 掘削幅+影響幅1.0m(両端)とする。
- すべて全幅復旧する。



※この「本復旧範囲図」に関しては、参考であるため実際の本復旧範囲については、道路管理者の許可条件を遵守してください。